



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

第51回 HL7セミナー  
「JAHISデータ交換規約（共通編）  
Ver.1.0」のご紹介

2014年11月5日

JAHIS医療システム部会  
相互運用性委員会

委員長 木村 雅彦

（日本アイ・ビー・エム株式会社）

- JAHIS相互運用性委員会の紹介
- 共通編制定の背景
- 共通編のコンセプト
- 共通編の検討過程
- 共通編の内容
- 今後の活動予定について

## 診療業務支援

### 電子カルテ委員会

- 患者安全ガイドライン\_個別編WG
- 診療記録アーキテクチャWG
- ・ 電子カルテコンテンツ専門委員会

### 検査システム委員会

- 放射線治療WG
- ・ 臨床検査システム専門委員会
  - 臨床検査データ交換規約\_改定作業WG
- ・ 内視鏡部門システム専門委員会
- ・ 病理・臨床細胞部門システム\_専門委員会

### 部門システム委員会

- ・ 病棟業務支援システム専門委員会
- ・ 物流システム専門委員会

### セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- JAHIS-JIRA合同リモートサービスセキュリティ作成WG

- HPKI対応ICカードガイドライン作成WG
- シングルサインオンWG
- 開示説明書WG

### 相互運用性委員会

- ・ メッセージ交換専門委員会
  - HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
  - HIS-RISメッセージ交換標準化WG
  - 病名情報メッセージ交換標準化WG
  - 生理検査メッセージ交換標準化WG
- ・ データ互換性専門委員会

- 注射処置標準化WG
- HL7入門書作成WG
- データ交換規約共通編作成WG
- PCD-WG

横串機能

## ■ メッセージ交換専門委員会

- 8つのWGで構成
- 各種データ交換規約の制定・改定

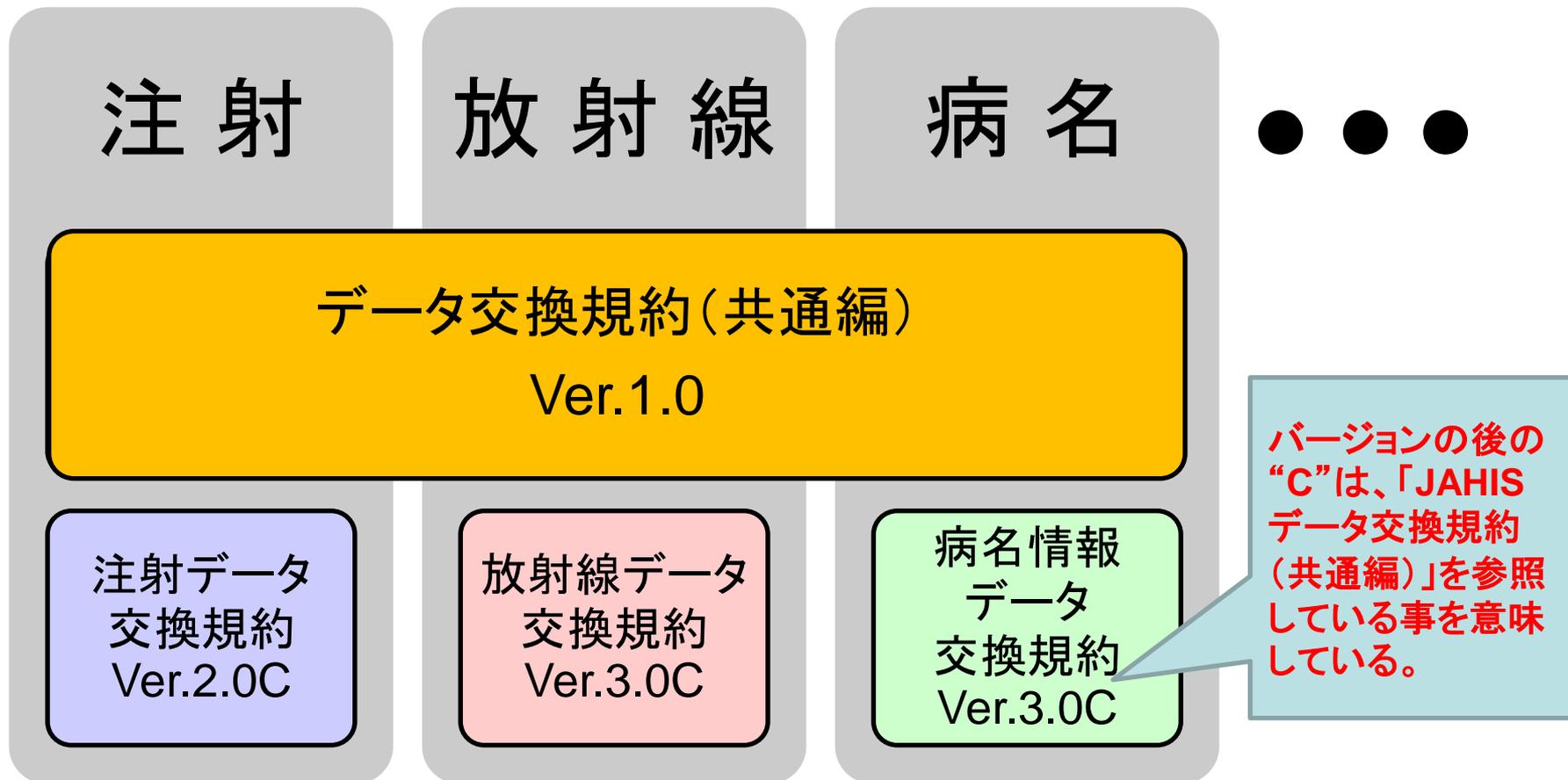
## ■ データ互換性専門委員会

- JAHIS実証実験の実施(年1回)
- 「基本データセット適用ガイドライン」の改定
- HL7関係の各種ツールの開発と公開

ID	名称	制定年月
14-007	JAHIS放射線治療データ交換規約Ver.1.0C	2014年10月
14-006	JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約 Ver2.0C	2014年09月
14-004	JAHIS内視鏡データ交換規約 Ver3.0C	2014年08月
14-002	JAHIS病名情報データ交換規約 Ver3.0C	2014年06月
14-001	JAHIS放射線データ交換規約 Ver3.0C	2014年06月
13-007	JAHIS注射データ交換規約 Ver2.0C	2014年01月
13-006	JAHISデータ交換規約(共通編)Ver1.0	2014年01月
13-004	JAHIS処方データ交換規約Ver.2.1	2013年05月
13-001	JAHIS生理検査データ交換規約Ver.2.0	2013年04月
12-001	JAHIS臨床検査データ交換規約Ver3.1	2012年 4月

- 1999年10月に最初のデータ交換規約を制定して以来、現在までに8つの領域において制定
- 各領域の委員会やWGにて、**個々の領域の事情**に応じて規約の制定・改定
  - ⇒ **重複記載**や**記述内容のぶれ**が発生
- 各領域を跨いだデータ交換(SS-MIX2など)が一般的となり、**領域間共通**の規約が求められる
- 各データ交換規約の**共通内容を整理**したものが必要

- **重複部分の集約による仕様の統一と各データ交換規約のスリム化(分冊化)**
  - HL7の仕様・用語に関する一般的な解説
  - 共通的なメッセージやセグメント
  
- **今後のデータ交換規約間の共通ルールの作成**
  - データ交換規約で定義したコード表の命名規則(JHSx表)
  - 章構成、記述形式、スタイルなどの統一
  - 共通編と仕様が異なる場合の記載方法



## ■ データ交換規約共通編作成WG

- 8つのデータ交換規約の代表者(WGリーダー)をメンバー
- 各データ交換規約との整合性、決定の迅速化
- 各2時間×計6回程度のWG

## ■ 検討内容

- 共通するメッセージやセグメントの洗い出し
- フィールドのOption値や定義内容の比較および統一案の検討
- 章構成、記述形式の検討、Wordスタイルの整備
- ドラフトの分担作成とレビュー

## データ交換規約(共通編)Ver.1.0 目次

1	はじめに	1
2	使用している HL7 について	2
2.1	概要	2
2.2	メッセージ	3
2.2.1	メッセージならびにメッセージ構成	3
2.2.2	HL7 メッセージコーディング及び処理規則	3
2.3	フィールド	5
2.3.1	(セグメント内の)	5
2.3.2	最大長	5
2.3.3	データ型	6
2.3.4	オプション指定	6
2.3.5	文字	6
2.3.6	ID	7
2.3.7	ID 番号	7
2.3.8	名称	7
2.4	メッセージ区切り文字	8
2.4.1	テキストフィールドでのエスケープシーケンスの使用	8
2.4.2	エスケープ文字の例外的解釈	9
2.5	データ型	11
3	主な用語	106
4	HL7 テーブル	107
5	本規約の対象範囲	108
5.1	対象範囲	108
6	メッセージ構文	110
6.1	情報照会(QBP/RSP)	111
6.1.1	QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)	111
6.1.2	RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)	111
6.1.3	QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)	112
6.1.4	RSP 患者基本属性及び所在照会応答メッセージ イベント(ZV2)	113
6.2	患者情報通知(ADT/ACK)	114
6.3	ADT/ACK 入院・入院の追加メッセージ イベント(A01)	115
6.3.1	ADT/ACK 転科・転棟メッセージ イベント(A02)	116
6.3.2	ADT/ACK 退院・退院終了メッセージ イベント(A03)	117
6.3.3	ADT/ACK 患者の外出・外泊開始メッセージ イベント(A21)	119
6.3.4	ADT/ACK 患者の帰院メッセージ イベント(A22)	120
6.3.5	ADT/ACK 入院/外来通知(A01)の取消メッセージ イベント(A11)	121
6.3.6	ADT/ACK 患者の移送(A02)の取消 イベント A12	122
6.3.7	ADT/ACK 退院、退院終了 (A03) の取消メッセージ イベント(A13)	122
6.3.8	ADT/ACK 患者の外出・外泊開始 イベント A21	124
6.3.9	ADT/ACK 患者の帰院 イベント A22	124

6.3.10	ADT/ACK 患者情報の関連付けメッセージ イベント(A24)	125
6.3.11	ADT/ACK 個人情報の追加メッセージ イベント(A28)	126
6.3.12	ADT/ACK 個人情報の更新メッセージ イベント(A31)	128
6.3.13	ADT/ACK 患者情報の関連付けの解除メッセージ イベント(A37)	129
6.3.14	ADT/ACK 患者情報の変更メッセージ イベント(A47)	130
6.3.15	ADT/ACK 患者IDリストの変更メッセージ イベント(A47)	130
6.3.16	ADT/ACK 患者の外出・外泊開始(A21)の取消 イベント A52	130
6.3.17	ADT/ACK 患者の帰院(A22)の取消 イベント A53	130
6.3.18	ADT/ACK 副作用情報の更新 イベント A60	134
7	関連セグメント詳細	135
7.1	AL1 - PATIENT ALLERGY INFORMATION SEGMENT 患者アレルギー情報セグメント	135
7.2	ERR - ERROR SEGMENT エラーセグメント	135
7.3	EVN - EVENT TYPE SEGMENT イベントタイプセグメント	140
7.4	MSH - MESSAGE HEADER SEGMENT ヘッダーメッセージセグメント	140
7.5	MSH - MESSAGE HEADER SEGMENT ヘッダーメッセージセグメント	144
7.6	NTE - NOTES AND COMMENTS SEGMENT 注釈コメントセグメント	152
7.7	PID - PATIENT IDENTIFICATION SEGMENT 患者識別セグメント	153
7.8	PV1 - PATIENT VISIT SEGMENT 来院情報セグメント	161
7.9	TQ1 - TIMING/QUANTITY SEGMENT タイミング/数量セグメント	168
付録-1	メッセージ例	173
付録-2	作成者情報	180

2章、3章：  
HL7 V2.5の仕様

共通メッセージの続き

4章、JAHIS標準テーブル

7章：共通セグメント

5章、6章：  
共通メッセージ

付録1：メッセージ例

## 2章、3章:

### ■ HL7の仕様・用語についての一般的な説明

- HL7概要
- 主な用語
- メッセージならびにメッセージの構成
- フィールド
- メッセージ区切り文字
- データ型など

## 4章:

### ■ データ交換規約で定義した表の**命名規則**を定義

#### ■ 「JHS\*nnnn」

\* :データ交換規約の英語表記の頭文字

nnnn:連番

例)処方データ交換規約の場合、処方の英語表記は「Prescription」となるので「JHSPnnnn」

## 5章、6章:

- **共通**してよく利用される**メッセージ**を記載
  - **患者情報通知/応答**
    - 患者管理メッセージ (ADT^Axx/ACK)
    - データ交換規約で未使用のものも掲載
  - **患者情報等の照会**
    - 患者基本情報照会/応答メッセージ (QBP^Q22/RSP^K22)
    - 患者基本属性及び所在照会/応答メッセージ (QBP^ZV1/RSP^ZV2)
- ⇒IHEのPAM/PDQと同じもの

## ■ 共通編に記載されているADTメッセージ

トリガー	名称	トリガー	名称
A01	入院／来院の通知	A24	患者情報の関連付け
A02	転科・転棟	A28	個人情報の追加
A03	退院/在院終了	A31	個人情報の更新
A04	患者の登録	A37	患者情報の関連付けの解除
A08	患者情報の更新	A40	患者情報のマージ-患者ID リスト
A11	入院／外来通知(A01)の取消	A47	患者ID リストの変更
A12	患者の移送(A02)の取消	A52	患者の外出・外泊開始(A21)の取消
A13	退院、通院終了(A03)の取消	A53	患者の帰院(A22)の取消
A21	患者の外出・外泊開始	A60	副作用情報の更新
A22	患者の帰院		

## 7章:

- 各データ交換規約で**共通的に利用**され、かつ利用方法に**差異が少ない**セグメントを記載
- 各フィールドに対してJAHISデータ交換規約共通の**Option指定**を「Japan値」として定義
- セグメント名の**アルファベット順**に記載

## ■ 共通編に記載されているセグメント

セグメント	名称
AL1	PATIENT ALLERGY INFORMATION SEGMENT 患者アレルギー情報セグメント
ERR	ERROR SEGMENT エラーセグメント
EVN	EVENT TYPE SEGMENT イベントタイプセグメント
MSA	MESSAGE ACKNOWLEDGMENT SEGMENT メッセージ応答セグメント
MSH	MESSAGE HEADER SEGMENT メッセージ・ヘッダ・セグメント
NTE	NOTES AND COMMENTS SEGMENT 注釈コメントセグメント
PID	PATIENT IDENTIFICATION SEGMENT 患者識別セグメント
PV1	PATIENT VISIT SEGMENT 来院情報セグメント
TQ1	TIMING/QUANTITY SEGMENT タイミング／数量セグメント

## 付録ー1:

- 患者管理 (ADT) 系メッセージのサンプルを記載
  - (1) 入院の通知
  - (2) 退院の通知
  - (3) 来院の通知
  - (4) 在院終了の通知
  - (5) 患者情報の更新
  - (6) 患者情報の照会(1)
  - (7) 患者情報の照会(2)

## ■ 今後の活動予定について

- Ver.1.1の検討を開始(～2015年3月)
- 外部から指摘のあったHL7の日本語訳などの見直し
- 保険セグメント(IN1)や照会関係の共通セグメントの追加

## ■ (ご参考)HL7関係のツールを公開中

### ■ HL7メッセージ作成支援ツールVer.1.3

<http://www.jahis.jp/sections/iryosystem-2/jissho-jikken-wg2-2-2-2/hl7-message-tool-ver%EF%BC%8E1-0-2-2-2/>

### ■ HL7辞書ユーティリティVer.1.0

<http://www.jahis.jp/sections/iryosystem-2/jissho-jikken-wg2-2-2-2/hl7-utilityl-ver-1-0-2/>

アクセス:ホーム>部会情報>医療システム部会>データ互換性専門委員会>HL7...



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

**ご清聴ありがとうございました**